



令和 3 年度 全国学力・学習状況調査の結果から

本年 5 月 27 日に 3 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査について、改めて本校の状況についてお知らせします。この調査は生徒の学力や学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としており、本校の強みや弱み、生徒の状況等を踏まえ、引き続き保護者・地域のみなさまにご協力をいただきながら教育活動の改善に取り組んでいきたいと考えています。

1 全国学力・学習状況調査についての基本的な考え方について

学力調査は、教育施策の成果や課題を検証し、その改善を図ること、学校における教育指導の充実や改善等に役立てること等を目的として実施されるものです。一方、調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえるとともに、数値データを単純に比較することで、序列化や過度な競争が生じないよう十分配慮することが重要であるとされています。



本校においても、公表された平均正答率等の数値は、あくまでも平均値であり、個々の生徒の状況を表すものではないことに留意し、毎日の授業の改善や、生徒一人一人の学校内外での学習状況の改善に役立てていきたいと考えています。

2 学力調査について

<各教科の平均正答率と南が丘中の状況>

- ・ 全国・三重県・津市の平均正答率を、上回っています。
- ・ 設問ごとの平均正答率は、国語 14 問中全問、数学 16 問中 15 問で全国を上回っており、平均的にみて学習能力は高いといえます。
- ・ 答えを何も書かなかった無回答率(値が低いほうが望ましい)については、全問で全国平均を下回っており、最後まであきらめずに粘り強く取り組む姿勢がうかがえます。

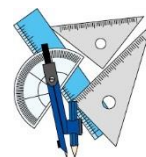
平均正答率	国語	数学
南が丘中	全国・三重・津市を上回る	
津市(公立)	64	59
三重(公立)	63	58
全国(公立)	64.6	57.2

<国語>

- ・ 無回答率については、記述式の問題 1 問で、やや高くなっています。
- ・ 全ての問題で全国の平均正答率を上回っているものの、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことや、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに課題が見られます。
- ・ 今後も、根拠を明確にして自分の考えを書いたり、意見を発表したり、意見交換したりする活動を大切にしていきたいと考えます。

<数学>

- ・ 無回答率については、記述式の問題 3 問、短答式の問題 1 問で、高くなっています。
- ・ 記述式の問題 1 問で全国の平均正答率を下回り、無回答率も高くなっており、日常の授業の中で、データの傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりする場面を設定していく必要があります。
- ・ 今後も、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明したり、表現したりする活動を大切にしていきたいと考えます。



3 生徒質問紙について

<9 割以上の生徒が肯定的な回答をしているもの(一部抜粋)>

※ %は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合

- ・ 毎日朝食を食べている。97% ・ 毎日同じくらいの時刻に起きている。92%
- ・ 人が困っているときは、進んで助けている。92%
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。97%
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う。96% ・ 友達と協力するのは楽しいと思う。92%
- ・ 友達と話しあうとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができています。95%



- ・ 国語の勉強は大切だと思う。96%
- ・ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。92%

＜全国と+5ポイント以上の差が認められたもの（一部抜粋）＞

※ %は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合

- ・ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。68%
- ・ 住んでいる地域の行事に参加している。50%
- ・ 1、2年の授業では、教科で学んだことを生かし、考えをまとめたり新しいものを作り出したりする活動を行っていた。66%
- ・ わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげている。80%
- ・ 国語の勉強は好き。66% ・ 英語の勉強は好き。63%
- ・ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。80%

その他、全国と+5ポイント以上の差が認められたもの（一部抜粋）

- ・ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。の問いに、2時間以上3時間より少ないと答えた生徒。35%
- ・ 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。の問いに、4時間以上と答えた生徒。15%
- ・ 学校でコンピュータなどのICT機器を、意見交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。の問いに、ほぼ毎日(36%)、週1回以上(34%)と答えた生徒。



＜全国と-5ポイント以上の差が認められたもの（一部抜粋）＞

※ %は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合

- ・ 自分にはよいところがあると思う。67% ・ 学校に行くのは楽しい。73%
- ・ 地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある。38%
- ・ 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。87%
- ・ 学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。64%
- ・ 学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。62%
- ・ 数学で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている。58%



4 全国学力・学習状況調査の結果から見た本校の強み、弱みと今後の対応

＜強み＞

- ・ 学習に対する興味・関心、意欲が高く、多くの生徒が計画的に家庭学習を進めています。
- ・ 多くの生徒が、基本的な生活習慣を身につけ、前向きに学校生活を送っています。
- ・ 善悪に対する判断力や公正さ、人の役に立ちたいという意欲を持っており、こうした姿を実際の学校生活や社会の中で発揮してくれることを期待しています。

＜弱み＞

- ・ 「自分にはよいところがあると思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」という問いに否定的に答えた生徒が一定数おり、生徒一人ひとりの状況をより一層ていねいに把握し、自尊感情や自己有用感を育成していく必要があります。
- ・ 強みを生かし、日常生活での課題をとらえ、改善しようとする意欲や実際の行動へとつなげていく必要があります。
- ・ 自己実現に向け、よりよい人間関係や社会を築いていくために必要な対話力や、行動力などを育成していく必要があります。

➤ 今回の調査結果を踏まえ、学校全体で次の取り組みに力を入れていきます。

1. 生徒一人ひとりの学習状況をきめ細かく把握し、基礎、基本の徹底を図ります。
2. 主体的・対話的で深い学びをめざし、継続的な授業改善に取り組みます。
3. 将来の生き方につながる学びの充実、進路指導の充実を図ります。
4. 家庭と連携し、家庭学習の充実、「自己有用感」の育成をめざします。



安定した家庭での生活や、家族との対話、家庭での計画的な学習習慣等が、本校の子どもたちを支える大きな強みです。引き続き保護者、地域の皆様にご支援いただきながら、教育活動の一層の充実を目指し、取り組みを進めてまいります。

毎日のお知らせや、子どもたちの学校での様子をホームページに掲載していますのでご覧ください。

南が丘中学校 ホームページアドレス… <http://ednet.res-edu.ed.jp/c-minamigaoka/>